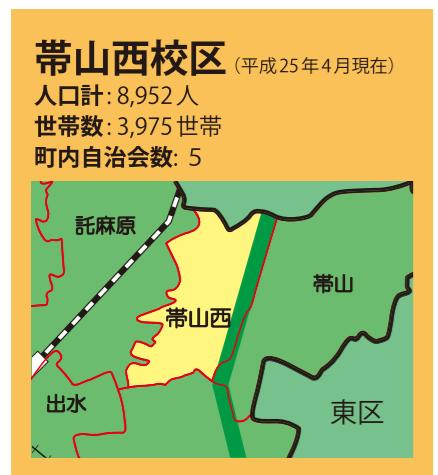




帯山西校区自治協議会
の鈴木之夫会長



全体に行き渡るようになりました。

鈴木さんは「これからは、今まで自治会に積極的にかかわっていなかった人たちの能力を地域活動でぜひ生かしていただきたい。そのことで、防災防犯面から地域力を高めることができそうです。校区には防災の専門家も住んでいます。そんな優れた人が活動できる機会と場を増やしたい」と熱い思いを話してくれました。



1 「帯西応援隊」が実施する藻器堀川探検。子どもたちが地域を知り、上の世代の知恵を受け継ぐ活動になっている

2 PTA主催のスタンプラリーのシート。帯山西小学校が提唱する、ノーテレビ・ノーゲームデーの情報が入っており、校区のイベントはこの日にあわせて企画される

3 校区の主要団体の代表が集まる地域懇談会。健康づくりなどに関する情報も交わされる

新しい発想や人材を
まちづくりに生かす

まちで、最近はマ
ンションの建設などで若い人たち
ちも多く住むようになった帯山西校
区。その一方で、「世代間
交流」や「地域住民同士の交流」
も、住民そのものが主役となつて取
り組む姿勢が見られます。
地域コミュニティセンターや小
学校を会場に、年1回行われる
「帯西まつり」や年2回の「伝承
遊び」、競輪場と連携して駐車
場を活用したイベントなど、世代
を超えたコミュニケーションの場
づくりが盛んに行われてきました。
また、帯山西小学校PTA「親父の会」から生まれた「帯西応
援隊」の活動もユニークです。
校区を流れる藻器堀川(しよう
けぼりがわ)を巡って、保護者
と小学生たちがいっしょになつ
ました。

田行雄PTA会長は言います。
中でも力を入れているのが、
年2回の地域懇談会。小学校の
PTAが主催で、地域団体や警
察、幼稚園など、100名を超
える参加があります。話題の中
心は、防犯やイベントなど子ど
もに関する事。これにより、
校区みんなでの交通安全パト
ロールや危険箇所の状況など、
防犯、防災に関する情報が校区
で始まつた藻器堀川探検が、さら
に新たな地域活動のきっかけ
を生み出しています。

PTA主催のスタンプラリー
も好評です。地域の行事をチエッ
タントにし、参加したらス
タンプがもらえる仕組みです。
「イベントに参加してもらう目
的で始めました。今では、イベン
ト自体を楽しみに来る人も多く
なりましたが、新しい住民の方
へ参加を呼びかけるのに役立つ
ています」と帯山西小学校の岡
田行雄PTA会長は言います。

も好評です。地域の行事をチエッ
タントにし、参加したらス
タンプがもらえる仕組みです。
「イベントに参加してもらう目
的で始めました。今では、イベン
ト自体を楽しみに来る人も多く
なりましたが、新しい住民の方
へ参加を呼びかけるのに役立つ
ています」と帯山西小学校の岡
田行雄PTA会長は言います。